

未来へつなぐ しが文化活動応援事業

《⑥成果物 資料》

活動報告書

令和3年8月吉日

県民の皆さま

事業番号 0506-0002
団体名 日本高等学校かるた連盟
代表者名 会長 増田 勝治
(公印省略)

全国各地より多数のご参加をいただき、盛会のうちに無事に終了できましたことは、皆様方のご支援ご協力の賜物と、関係者一同厚く御礼申し上げます。
当日の結果等、下記のとおり事業のご紹介をさせていただきます。

事業名	小倉百人一首競技かるた 第43回全国高等学校選手権大会
主催者名	一般社団法人全日本かるた協会 公益社団法人全国高等学校文化連盟 一般財団法人天智聖徳文教財団
主管	日本高等学校かるた連盟 高文連全国小倉百人一首かるた専門部
後援・協賛 団体名	文部科学省、滋賀県・県教育委員会、大津市・市教育委員会 NHK大津放送局 (公社)びわ湖大津観光協会
開催日時	令和3年7月24日(土)団体戦、25日(日)個人戦
会場	近江神宮・近江勸学館・滋賀公民館・びわ湖大津館・大津市立市民文化会館 25日個人戦のみ使用施設 滋賀県立武道館・圓滿院門跡・スカイプラザ浜大津・琵琶湖ホテル・コラボしが21 大津市立中央小学校・びわ湖大津プリンスホテル・比叡山高等学校・旧大津公会堂
参加者数	団体戦-全国44都道府県代表44校 (予選等参加校数354校) 個人戦-1,454名 A級(4段以上)33名、B級(3段)157名、 C級(二段)364名、D級(初段)364名、E級(無段)676名
◎事業概要 (事業の主な内容・出演者数・出品点数・入賞者数など) 選手5名(チーム8名迄)の対抗戦である団体戦の出場校は44校で、感染症対策により5校4ブロック、6校4ブロックのトーナメント戦。 各ブロック1位校による決勝トーナメント戦を実施した。 団体戦会場は近江神宮・近江勸学館・滋賀公民館・大津市立市民文化会館・びわ湖大津館。 個人戦出場者は、A級勸学館、B級勸学館・滋賀公民館・大津市立市民文化会館 C級圓滿院門跡・琵琶湖ホテル、D級スカイプラザ浜大津・旧大津公会堂・大津市立中央小学校 E級コラボしが21・滋賀県立武道館・びわ湖大津プリンスホテル・比叡山高等学校にて開催した。 団体戦-優勝、準優勝、第3位校、第4位校まで表彰。(別紙のとおり) 個人戦-優勝者、準優勝者、第3位(2名)、第4位(4名)を各組で表彰。 個人戦の組分けは、A級(4段以上)1組、B級(3段)6組、 C級(2段)8組、D級(初段)12組、E級(無段)23組。 (別紙のとおり) 行事進行 23日(金)14時 ~15時 日本高等学校かるた連盟総会 15時20分~16時30分 団体戦開会式(勸学館) (開会式の中で組合せ抽選結果発表及び代表者会議を実施) 24日(土) 9時 ~19時30分 団体戦、競技、表彰式 25日(日) 9時 ~19時 個人戦開会式、競技、表彰式	
※ 大会の沿革について 全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会は、昭和54年に滋賀県で全国高校総体(インターハイ)が行われるのにあわせて、当時の大津あきのた会、近江神宮かるた会の会長であった中西秀三氏の呼びかけにより、近江神宮を会場に第1回の団体戦が開催されました。当時の参加校は8校でした。翌年から全日本かるた協会の主催で個人戦も開催されるようになりました。後に日本高等学校かるた連盟が団体戦を主催するようになりました。現在は、全日本かるた協会、全国高等学校文化連盟天智聖徳文教財団、滋賀県かるた協会の主催で大会が実施されています。	

小倉百人一首競技かるた 第43回 全国高等学校選手権大会
令和3年7月24日(土) [団体戦]・25日(日) [個人戦]

